

「安心・活力・発展プラン2005」中間見直し策定委員会発言要旨
－ 発展部会 －

開催日：平成23年6月15日（水） 10：00～12：00

場 所：トキハ会館5F カトレア

出席委員： 山崎委員 板井委員 宇都宮委員 大井委員
小野委員 金丸委員 川瀬委員 坂口委員
西村委員 平田委員 堀川委員 宮町委員
八坂委員

- 「分権」の項目の記述がわかりにくい。分権が県民生活に及ぼす影響をわかりやすく書くべきである。
- 誰でも参加することができるユニバーサルスポーツを広めることで、青少年の健全育成や高齢者との交流にもつながる。
- 子どもは家庭で育つのだという基本を再度、認識すべきである。
- 高齢者がインターネットや携帯電話を安心して使えるような環境作りを進めてもらいたい。
- プラン2005の最終的な取りまとめ方については、若者や子どもたちにも分かるように、その内容や伝え方を考えてもらいたい。
- 学校の統廃合が進む中、田舎では学校の体育館や運動場などが唯一のスポーツの場であるので、統廃合を進める際は、地域の人達が自由に使える場の確保も考慮すべきである。
- 学校に寄せられるクレームの対応で先生達は大変苦勞している。教育庁は統一的な方針を出して学校側に伝えるなど、早急に対応策をとってもらいたい。
- 観光客が大分に着いてからの移動がしやすいように、公共交通情報を一元化し、積極的にPRしてはどうか。
- 多くの優秀な人材が都会の大学に進学し就職をしている。その人達が大分に戻ってこれるようなシステム作りが必要。
- 「一村一品」のようなキャッチコピーを県全体で作り、取り組んではどうか。